



# 桑折町 歴史的風致維持向上計画 [概要版]

平成28年3月



## 【歴史的風致とは？】

地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）第1条において、「地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の**活動**と、その活動が行われる**歴史上価値の高い建造物**及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた**良好な市街地環境**」と定義されており、ソフトとしての人々の活動と、ハードとしての建造物、市街地とが合わさって成り立つ**概念**です。

## はじめに

本町には、美しい半田山自然公園や日本三大鉱山の一つである半田銀山、戦国時代の分国法として名高い「塵芥集」を制定した伊達植宗の居城である桑折西山城跡、江戸時代に作られた西根堰、明治時代に建築された擬洋風建築の旧伊達郡役所など、数多くの自然や歴史的・文化的な財産が存在しています。

これまで、本町の良好な歴史的資源を活かし、町並みや古い店蔵等を活用した空き店舗対策事業（桑折御蔵やまゆたま）、小径整備事業、羽州街道サミットなどの街道をテーマとしたイベント・シンポジウムの開催、地域学の入門書「桑折学のすすめ～郷土愛を育むために」の編集など、町民とともにさまざまな事業を行い、地域の活性化に努めてきました。

しかし、社会的環境や生活様式の変化、人口減少、少子高齢化などにより民俗芸能・伝統文化の継承に支障が出るのが予想され、また、空き家・空き店舗の増加によって良好な町並みを保つのが困難になりつつあり、これらは東日本大震災によって、加速度を増しています。

発災から4年が経過し、ようやく「復興こおり創造プラン」の進展によって復旧・復興が実感できるに至ってきました。今後、歴史的資源を活かしたまちづくりを再開するにあたり、先人から受け継いだ本町の「良さ」「らしさ」を再認識し、次世代へ継承していけるよう、歴史的風致維持向上計画の策定を進め、必要な施策を展開していきます。

## 概要版の構成

### 第1章 歴史的風致形成の背景(P1-5)

本町の歴史的風致を理解するうえで必要な、本町の自然的・社会的環境や歴史、文化財とといった歴史的風致が形成されてきた背景を説明します。

### 第2章 桑折町の維持・向上すべき歴史的風致(P6-11)

本町の歴史的風致（歴史的価値のある建造物において住民による活動が継続し、良好な市街地環境を形成しているさま（桑折町らしさ、情緒、風情といったもの））を説明します。

### 第3章 歴史的風致維持向上に関する方針(P12-13)

歴史的風致の維持向上を図るための課題と方針を示します。

### 第4章 重点区域の位置及び区域(P14-15)

歴史まちづくりを重点的に進める区域を示します。

### 第5章 文化財の保存・活用に関する事項(P16)

文化財に対する保存、活用の方策を示します。

### 第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(P17-19)

文化財やその周辺で展開する各種まちづくり事業を示します。

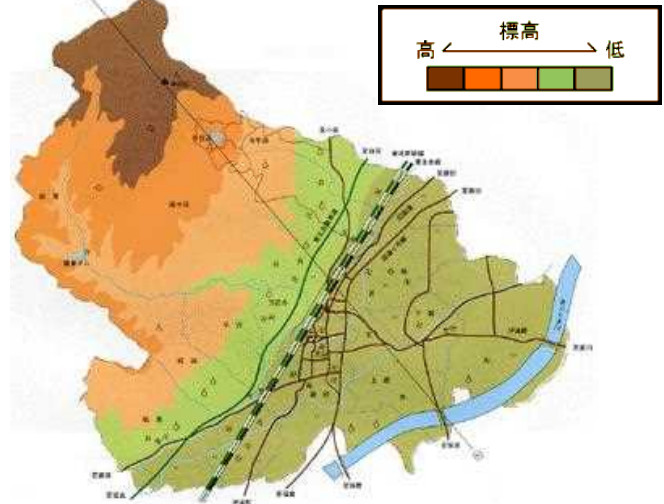
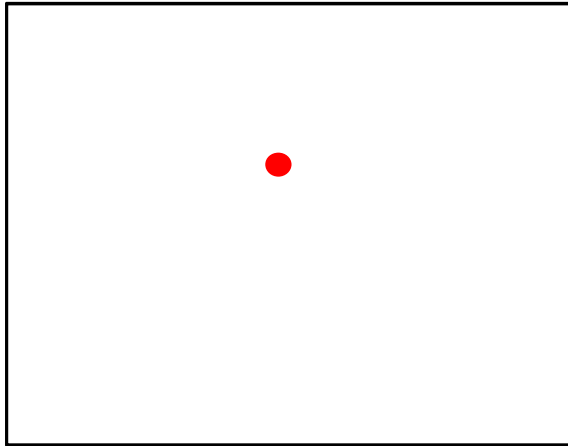
### 第7章 歴史的風致形成建造物に関する事項(P20)

歴史的風致の維持向上に資する建造物の指定、管理に関する考え方を示します。

# 第1章 歴史的風致形成の背景

## 1. 自然的環境

桑折町は、福島市から北へ約12km、宮城県境付近に位置している。町の面積は4,297㎡である。地形は、半田山(標高863.1m)を最高点とし、ここから流れ出す河川により、大規模な扇状地が形成されている。扇状地縁辺部は、比高20mほどの河岸段丘崖を形成する。段丘下は阿武隈川流域氾濫原で、自然堤防と旧河道の痕跡が明瞭に残されている。



■図 桑折町の位置図(左)と地形図(右)

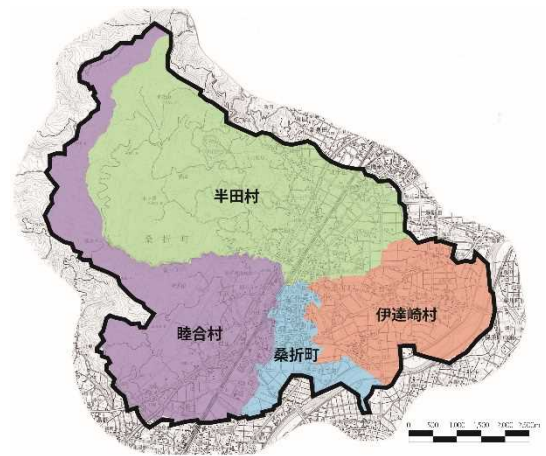
## 2. 社会的環境

現桑折町は、桑折町(旧)、睦合村、伊達崎村、半田村が昭和30年(1955)1月1日に合併し、誕生した。人口は12,853人(平成22年(2010)10月1日現在)である。

桑折町には、かつては奥州街道・羽州街道が通じ、阿武隈川の舟運の河岸が置かれ、現在は一般国道4号・東北縦貫自動車道・JR東北本線及び東北新幹線が縦貫しており、昔から交通の要衝であった。

農業は水稻栽培や果樹栽培がさかんであり、特にモモは天皇家・宮家に献上しており、特産品となっている。工業地域として町の南部に桑折工業団地が造成され、30余の事業所が立地している。商業は町の中心部の奥州街道沿いに商店街があり、年間商品販売額は平成11年(1999)以降、横ばいの状況であるが、商店数やその従業員数は減少傾向にある。

町内の観光拠点として、半田山自然公園や桑折町民研修センターうぶかの郷などが挙げられるが、平成23年(2011)3月11日の東日本大震災以降、観光客数は完全には回復していない。



■図 合併前の旧町村



■ゲンジボタルと「うぶかの郷」



■献上桃選果式



■桑折工業団地 (赤線の範囲)















































桑折町